



イーサネット タスク

次の項で、Chassis Manager のイーサネット タスクについて説明します。

- [ブリッジグループの表示および管理 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジサブネットの表示および管理 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジフォワーディングの表示および管理 \(p.6-9\)](#)
- [ブリッジアドレスの表示 \(p.6-11\)](#)
- [冗長グループの表示および管理 \(p.6-12\)](#)
- [トランクグループの表示および管理 \(p.6-16\)](#)

ブリッジグループの表示および管理

次の項で、ブリッジグループの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジグループの表示 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジグループのプロパティの表示 \(p.6-2\)](#)
- [ブリッジグループの追加 \(p.6-3\)](#)
- [ブリッジグループの設定 \(p.6-5\)](#)
- [ブリッジグループの削除 \(p.6-6\)](#)

ブリッジグループの表示

サーバスイッチのブリッジグループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。表 6-1 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 6-1 Bridge Groups テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの整数値の ID
Name	ブリッジグループ名
Ethernet Port	ブリッジグループがイーサネットスイッチの接続に使用できるトランクグループとポート
IB Port	ブリッジグループに関連付けられた内部ゲートウェイ slot#/port#
IB P_KEY	ブリッジグループの InfiniBand パーティション キー
Broadcast Forwarding	ブリッジグループのブロードキャストフォワーディング設定
Gratuitous IGMP	gratuitous IGMP が設定されている場合、true が表示されます。そうでない場合、false が表示されます。

ブリッジグループのプロパティの表示

ブリッジグループのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

Ethernet Chassis Manager ウィンドウが開き、ブリッジグループのプロパティを表示します。表 6-2 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 6-2 Ethernet Chassis Manager ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの ID 番号
Name	ブリッジグループの名前
Redundancy Group ID	ブリッジグループが所属する冗長グループの ID
Admin Failover Priority	ブリッジグループのフェールオーバー プライオリティ
Oper Failover Priority	ブリッジグループのアクティブなフェールオーバー プライオリティ
Ethernet Port pull-down menu	ブリッジグループがイーサネット スイッチの接続に使用するトランクまたはポートを表示します。
Vlan	グループの VLAN ID
IB Port pull-down menu	ブリッジグループが使用する IB ポートを表示します。
IB P_KEY	ブリッジグループのパーティション キー
Broadcast Forwarding	ブロードキャスト フォワーディングがイネーブルの場合に、オンの状態のチェックボックスを表示します。
Broadcast Forwarding Mode	アクティブなブロードキャストフォワーディングモード
Loop Protection Method	グループのループ保護方式を表示します。
IP Multicast	IP マルチキャストがイネーブルかどうかを示します。
Ip Multicast Mode	アクティブな IP マルチキャストモード
IP Address	ブリッジグループの IP アドレス
Gratuitous IGMP	gratuitous IGMP がイネーブルかどうかを示します。
Gratuitous IGMP Mode	gratuitous IGMP が設定されたモード
IGMP Version	選択されたオプション ボタンは、アクティブな IGMP バージョンを表示します。
IGMP Version Mode	アクティブな IGMP バージョンのモードを表示します。
Directed Broadcast	ブリッジグループのダイレクトブロードキャストがイネーブルかどうかを示します。
Directed Broadcast Mode	アクティブなダイレクトブロードキャストのモードを表示します。

ブリッジグループの追加

新しいブリッジグループを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group ウィンドウが表示されます。

■ ブリッジグループの表示および管理

- ステップ 4** ID フィールドに、ブリッジグループの ID 番号を入力します。
- ステップ 5** (任意) Name フィールドに、ブリッジグループの名前を入力します。
- ステップ 6** (任意) Broadcast Forwarding フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、このブリッジグループのブロードキャストフォワーディングをイネーブルにします。
- ステップ 7** (任意) Loop Protection Method フィールドの **none** または **one** オプション ボタンをクリックして、保護方式を選択します。
- ステップ 8** (任意) IP Multicast フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、IP マルチキャストフォワーディングをイネーブルにします。
- ステップ 9** (任意) IP Address フィールドに、ブリッジグループの IP アドレスを入力します。
- ステップ 10** (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、gratuitous IGMP をイネーブルにします。
- イーサネット ゲートウェイに接続されたイーサネット スイッチで IGMP スヌーピングがイネーブルの場合に、この機能をイネーブルにします。
- ステップ 11** (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。
- IGMP バージョンは、このブリッジグループによってブリッジされるホストおよびルータで使用されるバージョンに一致するよう設定する必要があります。バージョンは、gratuitous IGMP がレポートを生成するのに使用され、将来も使用される可能性があります。
- ステップ 12** (任意) Directed Broadcast フィールドで **Enable** チェックボックスをオンにして、ブリッジグループのダイレクトブロードキャストをイネーブルにします。
- ダイレクトブロードキャストにより、リモートサブネットイーサネットホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックを、このブリッジグループによりブリッジされる IB ネットワークにブロードキャストできるようになります。
- ステップ 13** Ethernet Port プルダウンメニューからポートを選択します。
- ステップ 14** Vlan フィールドに VLAN を入力します。
- ステップ 15** IB Port プルダウンメニューから IB ゲートウェイポートを選択します。
- ステップ 16** (任意) IB P_KEY フィールドにパーティションキーを入力します。
- ステップ 17** Apply をクリックします。
-

ブリッジグループの設定

ブリッジグループのプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Bridge Groups** ブランチを選択します。
- View フレームに **Bridge Groups** テーブルが表示されます。
- ステップ 3** プロパティを表示するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。
- Ethernet Chassis Manager ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** (任意) Name フィールドに、ブリッジグループの名前を入力します。
- ステップ 5** (任意) Ethernet Port プルダウン メニューからポートを選択します。
- ステップ 6** (任意) Vlan フィールドに VLAN ID を入力します。
- ステップ 7** (任意) IB Port プルダウン メニューからゲートウェイ ポートを選択します。
- ステップ 8** (任意) IB P_KEY フィールドにパーティション キーを入力します。
- ステップ 9** (任意) Broadcast Forwarding フィールドの **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、このブリッジグループのブロードキャスト フォワーディングをイネーブル (またはディセーブル) にします。
- ステップ 10** (任意) Loop Protection Method フィールドの **none** または **one** オプション ボタンをクリックします。
- 現在のところ、サポートされているループ保護方式は1つだけです。
- ステップ 11** (任意) IP Multicast フィールドの **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、このブリッジグループのマルチキャスト フォワーディングをイネーブル (またはディセーブル) にします。
- ステップ 12** (任意) IP Address フィールドに、ブリッジグループの IP アドレスを入力します。
- ステップ 13** (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、gratuitous IGMP をイネーブルにします。
- イーサネット ゲートウェイに接続されたイーサネット スイッチで IGMP スヌーピングがイネーブルの場合に、この機能をイネーブルにします。
- ステップ 14** (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。

IGMP バージョンは、このブリッジグループによってブリッジングされるホストおよびルータで使用されるバージョンに一致するよう設定する必要があります。バージョンは、gratuitous IGMP がレポートを生成するのに使用され、将来も使用される可能性があります。

■ ブリッジグループの表示および管理

ステップ 15 (任意) Directed Broadcast フィールドで **Enable** チェックボックスをオン (またはオフ) にして、このブリッジグループのダイレクトブロードキャストをイネーブル (またはディセーブル) にします。

ダイレクトブロードキャストにより、リモートサブネットイーサネットホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックを、このブリッジグループによりブリッジングされるIBネットワークにブロードキャストできるようになります。

ステップ 16 **Apply** をクリックします。

ブリッジグループの削除

ブリッジグループを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開してから、**Bridge Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Groups テーブルが表示されます。

ステップ 2 削除するブリッジグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジグループはすぐに削除されます。

ブリッジサブネットの表示および管理

次の項で、ブリッジサブネットの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジサブネットの表示 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジサブネットの追加 \(p.6-7\)](#)
- [ブリッジサブネットの削除 \(p.6-8\)](#)

ブリッジサブネットの表示

ブリッジサブネットを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Subnet** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Subnet ディスプレイが表示されます。表 6-3 で、このディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-3 Bridge Subnets のフィールド説明

フィールド	説明
ID	サブネット ID 番号
Subnet Prefix	サブネットプレフィクス (A.B.C.D 形式)
Subnet Prefix Len	サブネットプレフィクスの長さ

ブリッジサブネットの追加

ブリッジサブネットを追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Subnet** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group Subnet ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに整数値を入力して、サブネットに ID 番号を割り当てます。

ステップ 5 Subnet Prefix フィールドにサブネットプレフィクスを入力します (A.B.C.D 形式)。

ステップ 6 Subnet Prefix Len フィールドに整数値を入力して、サブネットプレフィクスの長さを設定します。

ステップ 7 **Apply** をクリックします。

ブリッジサブネットの削除

ブリッジサブネットを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Bridge Subnet** ブランチを選択します。
- ステップ 3** 削除するサブネットの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジサブネットはすぐに削除されます。

ブリッジ フォワーディングの表示および管理

次の項で、ブリッジ フォワーディングの表示方法と管理方法について説明します。

- [ブリッジ フォワーディングの表示 \(p.6-9\)](#)
- [ブリッジ フォワーディングの追加 \(p.6-9\)](#)
- [ブリッジ フォワーディングの削除 \(p.6-10\)](#)

ブリッジ フォワーディングの表示

ブリッジ フォワーディングを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Forwarding ディスプレイが表示されます。表 6-4 で、このディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-4 Bridge Forwarding のフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジ グループの整数値の ID
Port Type	IP の場合は eth、IPoIB の場合は ib を表示します。
Dest Address	パケットの最終的な宛先
Dest Length	宛先へのホップ数
Next Hop	最終的な宛先に向けてパケットを転送するためのサーバ スイッチからの最初のホップ。
Subnet Prefix	ブリッジ グループのサブネットプレフィクス
Prefix Length	ブリッジ グループのサブネットプレフィクスの長さ (ビット単位)

ブリッジ フォワーディングの追加

ブリッジ フォワーディング情報を追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Bridge Group Forwarding ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに、ブリッジ グループの ID を入力します。

ステップ 5 **eth** または **ib** オプション ボタンをクリックして、IP または IPoIB を指定します。

■ ブリッジ フォワーディングの表示および管理

- ステップ 6** Destination Address フィールドに IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** Dest Length フィールドに、宛先の長さを入力します。
- ステップ 8** Next Hop フィールドに、ネクストホップの IP アドレスを入力します。
- ステップ 9** Subnet Prefix フィールドにサブネットプレフィクスを入力します。
- ステップ 10** Prefix Length フィールドに、サブネットプレフィクスの長さ（ビット単位）を入力します。
- ステップ 11** Apply をクリックします。
-

ブリッジ フォワーディングの削除

ブリッジサブネットを削除する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Bridge Forwarding** ブランチを選択します。
- ステップ 3** 削除するフォワーディング グループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。ブリッジフォワーディンググループはすぐに削除されます。

ブリッジアドレスの表示

サーバスイッチのブリッジアドレスを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Address** ブランチを選択します。

View フレームに Bridge Address ディスプレイが表示されます。表 6-5 で、フィールドについて説明します。

表 6-5 Bridge Address のフィールド説明

フィールド	説明
ID	ブリッジグループの整数値の ID
Net Address	ブリッジグループのネットアドレス
Physical Address	ブリッジグループの物理アドレス
FLAGS	データパケット内の定義済みのビットまたはビットシーケンスセット

ブリッジグループのブリッジアドレス エントリの表示

サーバスイッチのブリッジグループのブリッジアドレス エントリを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Bridge Address** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべてのブリッジアドレスが含まれる Bridge Address テーブルが表示されます。

ステップ 3 Show All ドロップダウンメニューから、**Show Bridge Group 1** オプションを選択します。

View フレームに Bridge Group 1 のすべてのブリッジアドレスが表示されます。



(注)

すべてのブリッジグループのブリッジアドレスが表示されるのは、ドロップダウンメニューの **Show All** オプションのみです。通常、ブリッジアドレスはプルダウンメニューの選択されたオプションに従って表示されます。

冗長グループの表示および管理

次の項で、冗長グループの表示方法と管理方法について説明します。

- 冗長グループの表示 (p.6-12)
- 冗長グループの作成 (p.6-12)
- 冗長グループの削除 (p.6-14)
- 冗長グループのプロパティの表示または編集 (p.6-14)

冗長グループの表示

サーバスイッチの冗長グループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチをクリックします。

View メニューに Redundancy Group ディスプレイが表示されます。表 6-6 で、このディスプレイのフィールドについて説明します。

表 6-6 Redundancy Group のフィールド説明

フィールド	説明
ID	冗長グループの ID 番号
Name	冗長グループの名前
Multicast PKey	冗長グループが所属するマルチキャストグループのパーティションキー
Load balancing	ロードバランシングが実行されている場合、enabled が表示されます。そうでない場合、disabled が表示されます。
Members	冗長グループのメンバー数が表示されます。
Gratuitous IGMP	冗長グループの IGMP がイネーブルかどうかを示します。

冗長グループの作成

冗長グループを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチを選択します。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add Ethernet Redundancy Group ウィンドウが開きます。

ステップ 4 ID フィールドに整数を入力します。

ステップ 5 Name フィールドに ASCII テキスト名を入力します。

ステップ 6 (任意) Load Balancing フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにします。

ステップ 7 (任意) Broadcast Forwarding Mode フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループのブロードキャスト フォワーディングをイネーブルにします。

ブロードキャスト フォワーディングを一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのメンバーのブロードキャスト フォワーディング設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のブロードキャスト フォワーディング設定が復元されます。

ステップ 8 (任意) IP Multicast Mode フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループにマルチキャスト フォワーディング機能を適用します。

マルチキャスト フォワーディングを一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのメンバーのマルチキャスト フォワーディング設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のマルチキャスト フォワーディング設定が復元されます。

ステップ 9 (任意) Member Force Reelection フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、新しいメンバーがこの冗長グループで再選出されるようにします。

Member Force Reelection により、追加されたメンバーがプライマリ メンバーであるかどうかを判別されます。このメンバーがプライマリ メンバーでない場合、ネットワークは強制的に再選出を行って、このメンバーがプライマリ メンバーかどうかを判別します。

ステップ 10 (任意) Gratuitous IGMP フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、この冗長グループの gratuitous IGMP をイネーブルにします。

gratuitous IGMP を冗長グループに一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのブリッジグループ メンバーの gratuitous IGMP ステータスが上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元の gratuitous IGMP ステータスが復元されます。

ステップ 11 (任意) IGMP Version フィールドで、**v1**、**v2**、または **v3** オプション ボタンをクリックして、IGMP バージョンを選択します。

この設定を一時的に適用することにより、冗長グループのすべてのブリッジグループ メンバーの IGMP バージョン設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元の IGMP バージョン設定が復元されます。

ステップ 12 (任意) Directed Broadcast フィールドの **Enable** チェックボックスをオンにして、ダイレクトブロードキャスト モードをイネーブルにします。

ダイレクトブロードキャストにより、リモートサブネットイーサネットホストからのダイレクトブロードキャストトラフィックが、この冗長グループによりブリッジされる IB ネットワークにブロードキャストできるようになります。

ダイレクトブロードキャストを冗長グループに一時的に適用することにより、冗長グループのメンバーであるすべてのブリッジグループのダイレクトブロードキャスト設定が上書きされます。冗長グループからブリッジグループが削除されると、元のダイレクトブロードキャスト設定が復元されます。

ステップ 13 **Add Member** をクリックします。

Add Member ウィンドウが開きます。

ステップ 14 Bridge Group ドロップダウンメニューから、ブリッジグループを選択します。

ステップ 15 **Add** をクリックします。

Members フィールドにエントリが表示されます。

ステップ 16 (任意) **ステップ 13** ~ **ステップ 15** を繰り返して、さらにメンバーを追加します。

ステップ 17 **Apply** をクリックします。

冗長グループの削除

冗長グループを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチを選択します。

ステップ 3 削除する冗長グループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。冗長グループはすぐに削除されます。

冗長グループのプロパティの表示または編集

冗長グループのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Redundancy Group** ブランチを選択します。

ステップ 3 プロパティを表示する冗長グループの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 **Properties** をクリックします。

Redundancy Group Properties ウィンドウが開きます。表 6-7 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 6-7 Redundancy Group Properties のフィールド説明

フィールド	説明
ID	冗長グループの ID 番号
Name	冗長グループの名前を表示または編集します。
Multicast PKey	冗長グループが所属するマルチキャスト グループのパーティションキーを表示または編集します。
Load Balancing	冗長グループのロード バランシングのステータスを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
Members	冗長グループのメンバー数
Action	グループで実行するアクションのプルダウン メニューを提供します。 Fail Over を選択して、グループ内でフェールオーバーを行うようにします。
Result	Action フィールドに適用するアクションの結果
Broadcast Forwarding Mode	冗長グループのブロードキャスト フォワーディング モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
IP Multicast Mode	冗長グループのマルチキャスト フォワーディング モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
Member Force Reelection	冗長グループのメンバー強制再選出がイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
Gratuitous IGMP	冗長グループの gratuitous IGMP がイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。
IGMP Version	設定された IGMP のバージョンを表示するか、または対応するオプション ボタンをクリックすることにより設定を変更します。
Directed Broadcast	冗長グループのダイレクト ブロードキャスト モードがイネーブルかどうかを表示するか、または Enable チェックボックスをオン (オフ) にすることにより、ステータスを変更します。

- ステップ 5** (任意) ブリッジ グループ メンバーをクリックしてから、**Remove** をクリックして、ブリッジ グループ メンバーを削除します。
- ステップ 6** (任意) **Add Member** をクリックして、ブリッジ グループ メンバーを追加します (「[冗長グループの作成](#)」 [p.6-12] を参照)。
- ステップ 7** **Apply** をクリックして、すべての設定変更を有効にします。

トランク グループの表示および管理

次の項で、トランク グループの表示方法と管理方法について説明します。

- トランク グループの表示 (p.6-16)
- トランク グループの追加 (p.6-17)
- トランク グループの設定 (p.6-18)
- トランク グループの削除 (p.6-18)

トランク グループの表示

サーバスイッチのトランク グループを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Ethernet** を展開します。

ステップ 2 **Trunk Groups** ブランチを選択します。

View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。表 6-8 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 6-8 Trunk Groups テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
ID	トランク グループの ID 番号
Name	トランク グループの名前
Port Members	トランク グループに所属するポート
Distribution Type	トランク グループの分散タイプこのフィールドは、次のいずれかのタイプを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • srcMac は、着信パケットの送信元 MAC アドレスに基づいて負荷分散を行います。異なるホストからのパケットはチャンネル内の異なるポートを使用しますが、同じホストからのパケットはトランク グループの同じポートを使用します。 • dstMac は、着信パケットの宛先ホスト MAC アドレスに基づいて負荷分散を行います。同じ宛先へのパケットは同じポートを経由しますが、異なる宛先へのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • srcDstMac は、送信元論理ゲート (XOR) 宛先の MAC アドレスに基づいて負荷分散を行います。 • srcIp は、送信元 IP アドレスに基づいて負荷分散を行います。同じ送信元からのパケットは同じポートを経由しますが、異なる送信元からのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • dstIp は、着信パケットの宛先 IP アドレスに基づいて負荷分散を行います。同じ宛先へのパケットは同じポートを経由しますが、異なる宛先へのパケットはトランク グループの異なるポートを経由します。 • srcDstIp は、送信元論理ゲート (XOR) 宛先の IP アドレスに基づいて負荷分散を行います。
Trunk Group Enabled	オンの状態の Enable チェックボックスを表示して、アクティブなトランク グループを示します。
MTU	グループの最大伝送ユニット (Maximum Transmission Unit; MTU)

表 6-8 Trunk Groups テーブルのフィールド説明 (続き)

フィールド	説明
MAC Address	トランク グループの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレス (00:05:ad:01:59:30 など)。これは、トランク (リンク アグリゲーションされた) インターフェイスに関連付けられた一意の物理アドレスです。このアドレスは、各ポートの MAC アドレスとは別個のものです。
IfIndex	すべての物理インターフェイスおよび論理 (トランク、ゲートウェイ ポート) インターフェイスの管理ソフトウェアの一意の ID を表示します。

トランク グループの追加

トランク グループを追加する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Trunk Groups** ブランチを選択します。
- View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。
- ステップ 3** **Add** をクリックします。
- Add Ethernet Trunk Group ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** ID フィールドに、トランク グループの ID 番号を入力します。
- ステップ 5** Name フィールドに、トランク グループの名前を入力します。
- ステップ 6** Port Members フィールドで、追加するポートのチェックボックスをオンにします。
- ステップ 7** 特定のカードのチェックボックスをオンにして、そのカード上のすべてのポートを自動的にオンにします。
- ステップ 8** Distribution Type フィールドで、トランク グループに適用する分散タイプのオプション ボタンをクリックします。
- ステップ 9** (任意) **Trunk Group Enabled** チェックボックスをオンにして、トランク グループをすぐにイネーブルにします。
- ステップ 10** **Apply** をクリックします。
-

トランク グループの設定

既存のトランク グループを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Trunk Groups** ブランチを選択します。
- View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。
- ステップ 3** 設定するグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。
- Ethernet Trunk Group Properties ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** (任意) Name フィールドで、トランク グループ名を作成または変更します。
- ステップ 5** (任意) Port Members フィールドのチェックボックスをオンまたはオフにして、グループに対してポートを追加または削除します。
- ステップ 6** (任意) Distribution Type フィールドのオプション ボタンをクリックして、タイプを変更します。
- ステップ 7** (任意) Trunk Group Enabled フィールドの **Enabled** チェックボックスをオンまたはオフにして、トランク グループをイネーブルまたはディセーブルにします。
- ステップ 8** **Apply** をクリックします。
-

トランク グループの削除

トランク グループを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Ethernet** を展開します。
- ステップ 2** **Trunk Groups** ブランチを選択します。
- View フレームに Trunk Groups テーブルが表示されます。
- ステップ 3** 削除するグループの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。トランク グループはすぐに削除されます。
